

第11回『ロータリーの友』地区だより（5月号）



風薫る5月、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

『こどもの死亡率を減らす』『会員増強』

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- RI会長メッセージ ” 子どもの命を守る “ 1頁
李RI会長は、「グローバル・アウトルック」に関して、「子どもの死亡率に関しての現状と、それに対しロータリアンたちがどのように活動しているかについて取り上げています」と紹介し、これらに関してのロータリアンの反応が、「私の期待をはるかに超えるものでした。クラブや地区のプロジェクトは、決意と成功のうちに、人々の命を救っています」と述べています。そして、「私たちは今年度だけでなく、来るべき世代でも“夢をかたちに”しなければなりません」と、ロータリアンに呼びかけました。 (ロータリージャパンより)
- ロータリーの基本に立ち返る 会員が増えたクラブの共通点 5頁
今年度、会員が増えたクラブの会長が、クラブの取り組みについて語りました。「会員増強について、特別なことはやっていない」というクラブが会員増強に成功したのは、なぜでしょうか。そこには、いくつかの共通点がありました。これらの共通点は何なのかを、本座談会から読み取り、皆様のクラブ活動にお役立てください。 (ロータリージャパンより)
- 明日のロータリーのために仲間を増やす 11頁
2009-10 全国会員増強セミナー開催
3月7日に横浜で開催された「2009-10 全国会員増強セミナー」には、ガバナーエレクトをはじめ会員増強委員長などが集まり、熱心に討議しました。その紹介です。尚、リーダーが使用したパワーポイントの資料ならびに当日の記録は、『ロータリージャパン』のホームページに掲載してあります。 (ロータリージャパンより)
- ☆ 地区のたより 第2640地区 (是非お読みください) 28頁
 - ・地区雑誌広報委員会
 - ・関西国際空港ロータリークラブ
 - ・河内長野東ロータリークラブ
 - ・橋本ロータリークラブ
- 特集 子どもの死亡率をへらす RI指定記事 37頁
「子どもたちを第一に考える」2008-2009年度ロータリーの特別強調事項は、国連の主要な目標と結びつき、ロータリアンが既に実施している活動を強化するものです。

☆ 縦組

- ロボットと共生する未来 (千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長) 古田 貴之氏 . . . 2 頁
賢い、知的な機械はみんなロボットです。この考え方でくれば、今や、家も、車も、家電製品もみんなロボットです。技術は使われてナンボです。われわれはロボット技術を研究開発しますが、それらを部品にして、いろいろなメーカーから発売してもらって、ロボット屋じゃない人たち、例えば、家をつくる人、福祉機器を作る人、あるいは家電製品をつくる人たちが、ロボット技術の恩恵を簡単に受けいられるように、ということをしております。
(ロータリージャパンより)
- 歌壇 1 4 頁
「畑に出て西瓜作りの牛糞を
鋤き込む春分の土やわらかし」 大阪・堺東 RC 竹山 時和会員
- 柳壇 1 4 頁
「ゴミ袋猫とカラスが首位競う」 大阪・大阪金剛 RC 井出 胡蝶会員
「別腹は菓子のカロリー忘れてる」 大阪・大阪金剛 RC 井出 敏会員
- 友愛の広場 1 8 頁
「ポール・ハリスとバラク・オバマ」 和歌山・田辺東 隠岐 和彦会員
「七一歳の一人旅 本州四端踏破」 和歌山・田辺 渡部 正義会員
- ロータリーアットワーク 2 1 頁
「子どもたちに「こころの宝石箱」 和歌山・和歌山東 RC
「貧困の村を救おう」 大阪・堺泉ヶ丘 RC

「ロータリーの友」地区委員
山口 正眞 (和泉 RC)